

やはちだいせき
弥八田遺跡【西方町真名子】



弥生時代には、再葬墓とよばれる特しゆな埋葬まいそうの仕方が発達しました。これは、死者を一度埋葬まいそうした後に掘り返して、壺つぼなどに再びおさめ、穴を掘って埋葬まいそうする制度です。再葬墓さいそうぼからは、

複数の土器ふくすうが発見されており、当時の共同墓地きょうどうぼちの姿をうかがい知ることができます。